

住民によるまち・むら活力確保支援セミナー

日時：平成29年3月15日(水)

場所：長野県総合教育センター

山ノ内町 須賀川地区

1. 地域の概要

○人口：1,198人(478世帯)

▪高齢者数：483人(比率:40.3%)
(65歳以上)

▪年少者数：82人(比率:6.8%)
(15歳未満)

※平成28年4月1日現在

○主な産業:観光・農業

2. 地域の課題

- 小学校の閉校
- 商店等の減少
- 若者の流出
- 雇用先、働き先の確保
- 地域の活性化
- 休耕地、耕作放棄地の増加
- 冬期間の雪の処理

3. 小さな拠点の選定と役割

選定⇒ 閉校になる北小学校

役割⇒ 地域住民の利便性
雇用の創出
地域の活性化

※地域の要望を優先すること

4. 地元及び自治体による検討等

- 過去に行われた施策の整理
- 公共施設整備等検討会議の実施
⇒各課の要望及び職員からの自由意見を聴取
- 地元住民による協議会「北小空き施設利用検討協議会」の設立
⇒会員からの要望を聴取
- 「みんなの廃校プロジェクト」へ登録

5. 先進地視察研修



日時

・平成29年2月15日

場所

・小海町生涯学習センター

参加者

- 公共施設整備等検討委員
(山ノ内町職員)
- 北小空き施設利用検討協議会委員

6. 現時点での拠点の方針

○ 地域に点在する公共施設の併合

⇒ 公民館・診療所・児童クラブ

○ 小学校機能を利用した施設拡充

⇒ 図書室を地域の図書館として利用

○ 社会体育施設

⇒ グラウンド・体育館 等

※ 公共交通（コミュニティバス）の整備

7. 今後の課題

- 公共施設の規模や配置の検討
⇒ 地域の実情に合わせた整備
- 空きスペースの利用検討
⇒ 地域の要望を優先した利用
- 管理・運営の検討
⇒ 建物の管理及び各施設の運営

8. 反省事項

○ 地域と行政を繋ぐキーマン

⇒ 地元とのパイプ役の選出

○ 地域への働きかけ

⇒ 地元との意思疎通・情報の共有

○ 検討期間

⇒ 整備時期を見越した検討期間